

平成26年度第2回草加市みんなでまちづくり会議

議事録

1 開催日時

平成26年7月30日(水)午後7時から午後9時

2 開催場所

草加市文化会館 第1会議室

3 出席者の氏名

(1) 登録員 20名

(2) 事務局 みんなでまちづくり課：山岡課長、山崎課長補佐、巖上主任、亀山主任
井上主事、木村主事、二見主事

市民活動センター : 藤倉所長、細野主事

4 会議の議題

みんなでまちづくり会議の運用の充実について

5 公開・非公開の別

公開

6 傍聴者数

0人

7 会議の内容

別紙議事録のとおり

8 議事録署名人

森田一彦登録員、長谷部健一登録員

平成26年度第2回草加市みんなでまちづくり会議 議事録

【実施日時】 平成26年7月30日(水)午後7時～午後9時

【実施場所】 草加市文化会館 第1会議室

【出席者】 まちづくり登録員：20名、傍聴者：0名

事務局：山岡課長、山崎課長補佐、藤倉所長、巖上主任、亀山主任、井上主事
細野主事、木村主事、二見主事

1. 開会

2. 議事

<議題>

みんなでまちづくり会議の運用の充実について

事務局より資料説明

登録員の意見交換

3. 閉会

【議事内容】

-開会-	
【事務局】	皆さん、お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。定刻になりましたので、平成26年度第2回草加市みんなでまちづくり会議を開催します。本日司会を務めさせていただきますみんなでまちづくり課課長補佐の山崎と申します。よろしくお願いします。初めに、事務局のみんなでまちづくり課課長 山岡よりご挨拶申し上げます。
【事務局】	【挨拶】
【事務局】	それでは、皆さんにお配りした資料の確認をさせていただきます。 【配布資料】 会議の次第 資料「草加市みんなでまちづくり自治基本条例の今後の運用について」 資料「1. 自治基本条例におけるみんなでまちづくり会議の位置付けイメージ（案）」 危機管理課からお知らせ「平成26年度草加市防災まちづくり講演会」 お手元に資料はございますか。お持ちでない方や不備がある場合は挙手

	<p>でお知らせください。次に、会議の開催に当たり議事録を作成しますので、議事録の署名人について2名決定します。本日は、受付順で、森田一彦様、長谷部健一様にお願いしたいと思います。議事録は、作成でき次第、草加市のホームページで公開します。</p> <p>本日の議題は、「みんなでまちづくり会議の運用の充実について」です。今年、2月25日と4月22日にみんなでまちづくり会議を開催し、庁内検証委員会で作成した今後の運用案について、会議に参加したまちづくり登録員と意見交換を行ったところ、今後引き続き検討する課題はありますが、規則の改正案に関してはこのまま進めることになりましたので、現在、改正の手続きを進めています。</p> <p>本日は、「会議の進行役について」と「今後、みんなでまちづくり会議を定期開催するにあたってのテーマの決め方について」、登録員の皆さんからご意見をいただきたいと思います。まず、これまでの会議の経緯と皆さまにお配りした資料の説明をします。その後、市民活動センター所長 藤倉の進行で、今、皆さんが座っているグループごとに話し合いを進めていきたいと思います。各グループには、みんなでまちづくり課または市民活動センターの職員が1名ずつ入って補助をします。グループ毎に課題について意見交換を行い、意見をまとめていただいて、グループの代表者に発表していただきたいと考えております。また、発表の後に全体での意見交換を行う場を設けたいと思います。</p> <p>それでは、藤倉所長、よろしくお願いします。</p>
-議事-	
【事務局】	<p>皆さん、こんばんは。本日は暑い中お集まりいただきありがとうございます。ホワイトボードに本日のタイムスケジュールを書かせていただきました。これから皆さまにはワークショップをやっていただくのですが、テーマは2つあります。1つ目は「会議の進行役について」、2つ目は「今後、みんなでまちづくり会議を定期開催するにあたってのテーマの決め方について」です。この2つのテーマについて皆さんの意見をお聞きしたいと思います。その後、本日は総合政策課から情報提供をさせていただき、9時終了の予定です。皆さまには時間のない中での意見出しということで大変恐縮ではございますが、ご協力いただければと思います。</p> <p>それでは、次第にそって進めていきたいと思います。最初に、経緯と本日の配布資料について、事務局から説明します。</p>
【事務局】	<p>【資料説明】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>資料『草加市みんなでまちづくり自治基本条例の今後の運用について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『1.自治基本条例におけるみんなでまちづくり会議の位置付けイメージ（案）』について説明。 </div>

【登録員 A】	「協働のひろば」と決まったと言いましたが、誰が決めたのですか。
【事務局】	「協働のひろば」は市民活動センターで人づくりとして実施する事業です。内容につきましては、後ほどご説明させていただきたいと思います。
【事務局】	【資料説明】
【事務局】	ありがとうございました。前回のみんなでまちづくり会議でいただいた意見を踏まえ、事務局で資料の文言等を修正させていただきました。先ほど、「協働のひろば」についてご意見があるという話でしたが、短い時間で進めておりますので、改めてこの会議の後にでも協働のひろばについてご説明させていただければと思います。また、資料についてご質問等がありましたら、この会議の後、事務局にお話しitただければと思います。
【登録員 B】	意見があればこの場で言ってもらった方がいいのではないですか。
【事務局】	分かりました。では、この場でお願いします。
【登録員 A】	「市民参画の実現」「協働事業」「協働のひろば」と資料に書いてありますが、一般市民向けの資料ですから、参画や協働という言葉を使わず、分かりやすく、参画ではなく参加、協働ではなく協力など、もっと正しい日本語があるのではないかでしょうか。一般市民向けの資料なので、そのような言葉を使っていただきたい。先ほどの「協働のひろば」も、もっと別の言い方があるのではないかでしょうか。
【事務局】	事務局で記録をとらせていただきて、確認をしていきたいと思います。それでは、先に進みたいと思います。 1つ目のテーマです。会議の進行役について、みんなでまちづくり課長から説明があります。
【事務局】	【説明】
【事務局】	ありがとうございました。これから、自己紹介をした後に会議の進行役について話をさせていただきたいと思います。まず、ペンを1本とり、A4の白い用紙に名前、所属している団体があれば団体名、やりたいことややっていることを書いてください。そして、4つ折りにして三角柱を作るような感じでご用意いただき、自己紹介から進めていきたいと思います。

	<p>テーブルごとに記入が終わり次第自己紹介をしていただき、会議の進行役について話を進めていただければと思います。付箋紙にご意見を書いて、模造紙に貼り付けていく方法で進めていきたいと思います。まずは自己紹介、そして会議の進行役について議論していただきたいと思います。</p> <p>最後に、代表者にグループの意見を発表していただくのですが、今、緑のペンでお名前を書いていただいた方に、ぜひ代表として発表していただきたいと思います。緑のペンをお持ちの皆さん、本日の代表になりますので、よろしくお願ひいたします。</p>
【事務局】	<p>まだ議論が足りないグループがあるかもしれません、進行上申し訳ございません。ここまで出た意見で結構ですので発表してください。それでは、1グループの代表の方、お願いします。</p>
【登録員 C】	<p>たった4人ですがまとまりませんでした。いくつか意見がでましたが、まずはまとめる必要がないのではないかという意見。ある方向に引っ張っていくのは間違いではないか。それから、行政がやった方がいい、持ち回りでもいいから登録員がやるべきではないか、こんな意見でした。</p>
【事務局】	<p>ありがとうございました。それでは2グループお願いします。</p>
【登録員 D】	<p>皆さんの意見だけを発表させていただきます。今年度は役所でこのままやつたらという意見、議題によって決めた方がいいという意見、それから登録しているメンバーでやつたらどうかという意見。他市町村では登録員の中で幹事会のようなものを作って、そこが回しているところもあるようなので、そのようなことが考えられるという意見です。</p>
【事務局】	<p>ありがとうございました。それでは、3グループお願いします。</p>
【登録員 E】	<p>出た意見をまとめのかどうか分かりませんが、最初にまず、私たちがここに集まって来ているのは、草加をよくしたいとか、暮らしやすいよい街にしたいから来ているのです。そのようなことが実現できる会議であれば喜んで参加するし活発な議論もします。でも、そもそもこの会議が何なのかよく分からない中で進行役をどうするかと決めて、会議そのものがよく分かっていないので、そこをきちんとして欲しいということがあります。そして、個人が進行することになった場合に運営しきれるのか。事務局が必要だとか、支える体制が必要だとか、組織としてないと会議が成り</p>

	<p>立たないと思います。単純に進行役は誰がしますか、ということだけを話すということが、そもそもどういう意味があるのか、進行役に求められるものが何なのかよく分からぬのできちんとして欲しいです。</p> <p>そして、今日の会議の開催についても、ワークショップをやると思わなかつたので、もし、次回もワークショップをやるならば、事前に言っていただければ心の準備ができるのでお願いします。</p>
【事務局】	<p>連絡については申し訳ございませんでした。みんなでまちづくり課長から進行役についてご説明させていただきましたが、みんなでまちづくり会議について、まだ皆さんのイメージもしくは実体験がなく、分からぬ中の進行役はどうなのかといった議論は確かにご意見があるかと思います。ありがとうございました。それでは、4グループお願いします。</p>
【登録員 F】	<p>進行役は第三者ではない方がいいのではないか、市と市民の両方で進行役を出した方がいいのではないか、または登録員の中から選んでもいいのではないか。そういう議論の中で、みんなでまちづくり会議というは議論の場だけであるはずで、何か結果を求める場ではないでしょう。そうしたら、何かをまとめるために誰かが必要なのではなくて、みんなの意見を取り上げて、みんなで活発に議論できればいいだろう。だから、行政と市民の双方の理解が必要で、相手を思う気持ちが大切だから進行役は誰でもいいだろうという意見もあります。だから、この次にやるテーマの決め方が決まらない限り進行役も決められないのではないかという意見にだいたいまとまってきました。</p>
【事務局】	<p>ありがとうございました。これから2つ目として、テーマの決め方について説明いたしますが、確かにテーマによって市民がリードした方がいいのか、あるいは行政がリードした方がいいのか、ということがあるかと思います。ありがとうございました。それでは、5グループお願いします。</p>
【登録員 G】	<p>最初に、皆さんから出た意見だけ発表いたします。知識、常識が豊かな方。市の職員でもよいと思う。ただ、過去の経緯を踏まえて、そういう方はやめて欲しい。後は、中立性のある見識者の方、市内在住である方、ということですが、やはり3グループと同じように、私たちはワークショップをやることを全く知らずに参加しました。このグループの中でも前から参加されている方とはかなりの温度差があります。内容が分からぬので、長くやってらっしゃる方に聞いていたところです。ですから、会議の問題点としては何があるのか分からぬというご意見もありました。先ほどのグループの方と同じように、テーマがないのにやり方を決める、やり</p>

	方だけを先に議論する、そこが矛盾していると思います。今までの経緯の説明や前段の説明は、最初から関わってらっしゃる方には繰り返しでもつたない時間かもしれません、私たちのように初めて参加する人には説明が欲しいと思いました。
【事務局】	<p>ありがとうございました。確かに、登録員の中には今年から携わっている方、そして一番新しい方は最近登録していただいた方などさまざまな方がいらっしゃるのですが、皆さまの温度差、今もお話しいただきましたが情報量を少しでも同じようにできたらと事務局も考えておりますので、今後とも情報をしっかりと発信していきたいと思います。</p> <p>1 グループから 5 グループまで、進行役についてお話しいただきました。いただいたご意見を事務局で整理して、皆さんにお示しできればと思っております。また、進行役について議論していただいた中で、これから説明するテーマの決め方の方が先ではないか、テーマの話をする前に進行役についてというのはちょっと話しづらい、話の進め方が逆ではないかというご指摘をいただきました。確かに、テーマについて議論してから、それでは進行役はどうしましょうか、という方がやりやすかったのかもしれません。</p> <p>それでは、2つ目として「今後、みんなでまちづくり会議を定期開催するにあたってのテーマの決め方について」、みんなでまちづくり課長から説明をさせていただきます。</p>
【事務局】	説明に入る前に、第三者から進行役を選ぶ必要がないという意見が大半でしたので、第三者についてはペンディングとさせていただきます。
	【今後、みんなでまちづくり会議を定期開催するにあたってのテーマの決め方について説明】
【事務局】	ありがとうございました。説明させていただきましたテーマの出し方について、事務局案としての A 案・B 案の他に、このようなテーマの決め方があるのではないか、というものがあれば議論いただきたいと思います。
	【グループ毎の議論】
【事務局】	それでは、テーマの2つ目について、ここまで出た意見を今度は 5 グループから発表していただければと思います。よろしくお願いします。
【登録員 G】	いろんな意見はあるのですが、私の意見は A 案でした。というのは、B

	<p>案は随時市の方で受付を行うとありましたが、やはり、それでは連絡された時にこちらの準備ができません。ある程度、次回の会議の前に議題が分かっていれば、私たちには関係ないテーマであってもそれに対する自分たちの地域の情報やいろんな意見をまわりから汲み上げながら会議に参加することができるので、私はA案がいいです。</p> <p>まずはテーマを事前に言っていただき、自分たちで準備をして会議に臨みます。その先ですが、会議で出た意見は市政に反映して欲しいと皆さん強く感じています。話し合いで終わらずにそれをどういった形で行政が救い上げてくれるのか分からぬのですが、できれば反映させて欲しいです。話し合いだけで終わらずに市政に反映して欲しいという意見です。よろしくお願ひします。</p>
【事務局】	ありがとうございました。それでは、4グループお願いします。
【登録員 F】	<p>4グループでは、この会議を有意義にするにはどうしたらいいのかということが1番のテーマだという意見が最初に出ました。提案だけでは納得できない、でもそういった話の中で、この会議に決定権がないということは、テーマを決めることができるのか。でも、そう言っても何か決めなければいけないのなら、A案・B案を併用して、A案が中心でB案を取り入れたらいいのではないかという話になりました。でも、いろんな話をする中で、要はこの街を活性化する、住み良い街にするにはどうしたらいいのかということが、このみんなでまちづくり自治基本条例の理念だと思うので、その辺りを考えて、みんながそれなりの良識をもってやればどんなテーマでも話し合えるだろう、だから、思い付きでは困りますが、きちんとした話し合いで言ってくれるテーマであればどんなテーマでもいいだろう。できれば、A案で最後の10分程度と書いてありますが、ここで各団体からこういったテーマで話し合って欲しいという提案があれば、みんなで聞いて欲しいということでした。ですので、テーマを決めるということに関しては、最終的にはA案を中心で、B案を取り入れてやってもらえばいいのかなというところに落ち着きました。</p>
【事務局】	ありがとうございました。それでは、3グループお願いします。
【登録員 E】	<p>先ほど説明がありましたが、みんなでまちづくり会議を3か月に1回開催し、しかも2か月前にはテーマを決めなければいけないということを考えた場合に、前回の会議で決定しなければいけないのでA案に近いかもしれませんのが、10分間でテーマが決まるのか、いろんな団体が参加する中で決まらないと思います。例えば1つの案として、どのようなテーマで話</p>

し合いたいかについて一定程度受け付けたものを整理し、次の会議で、いろんな団体からこのようなテーマの要望がありますがどうしましょうか、というような形で整理をしていくという、B案を踏まえてやるものいと思います。振り返りなどもやった方がいいという意見も出ました。

ぜひ、第1回の会議のテーマは、みんなでまちづくり会議のそもそものところを話して欲しいです。毎回毎回新しい登録員が増えるので、もしかしたら1年に1回はやる必要があるかもしれません、新しい登録員が加入して来た時に、丁寧に話をしておいた方がいいと思います。

テーマといった時に、大きなテーマと小さなテーマがあるのですが、例えば防災に関心がある方、介護に関心がある方、子育てに関心がある方など様々ですが、共通事項として、草加の街の中に出た時に、人と人がつながりあってお互いに支え合う社会、それは介護でも子育てでも防災でも共通するから、どういう街を目指すのかというような大きなテーマが1つ共通認識としてあります。個別のテーマになった時には、例えば介護だったら1年かかる終わらないようなテーマだと思うのですが、全体の会議と個別のワークショップのような形で深めていかないと、意味があるものにならないという意見もでました。

【事務局】

ありがとうございました。それでは、2グループお願いします。

【登録員D】

このグループでは、A案とB案の併用がいいのではないかという平均的な答えです。みんなでまちづくり会議の目的は、提案をするための会議だと思います。提案をして取り上げられれば行政は具現化しなければいけないと条例に書いてありますので、あくまでこの会議は提案を出すため、自分たちの提案がより分かってもらえるようにするための会議です。会議としては、登録員をいくつかの分科会のようなものに分けて、全部に興味がなくても興味があることだけに出てきてもらう。個人的には分科会から代表の方を出してもらって幹事会のようなものを作ることでつながっていくのかなと思います。見守りネットの具体的なお話をされた方もいらっしゃいますが、それを含めて、第2テーブルはこのような意見でした。

【事務局】

ありがとうございました。それでは、1グループお願いします。

【登録員C】

残念ながら、意見の集約はできませんでした。その中でいくつか出された意見で、まずA案について。これはそもそも案ということですが、とても10分で結論が出るものではない。十分時間をかけてどのようなテーマを選択するか決めなければならない。テーマは非常に重いものであること。それから意見が分かれまして、事務局に提出されたテーマ全部につい

て、仮に1回の会議で1つか2つ、1つのテーマで2回かかるものもあると思います。時間をかけて出されたテーマの全部を会議で話し合うという意見。もしテーマがなかったらフリートーキングでもいい、テーマにこだわる必要はないという意見。年間4回、3か月に1回開催するのであれば、1回はテーマについて話し合い、次の会議でそのテーマに基づいて結論づけるという、非常に悠長ですが、実際に会議は年間を通じて2回しかできない、ただし、後の2回は次回のテーマのために話し合う。テーマの内容としては検討されたものになると思います。それから、テーマの結論ができるまで、あるいはある方向に収束するまで、1年でも2年でも話し合って、1つずつ潰していくべきではないかという意見もありました。最終的には他のグループも含めてこれでいきましょうという結論を出すのは非常に難しいと思います。

【事務局】

ありがとうございました。5つのグループの皆さんとこの時間で共有できることは、みんなでまちづくり会議そのものがはっきりと皆さんの中で理解できないところがあるということ、そして会議で話し合うテーマは事前に知っておきたいということです。また、1グループのように、テーマについて時間をとって議論してもいいのではないかという意見もありました。多くのご意見をいただきありがとうございました。本日は時間がない中で、またワークショップ形式で皆さんの意見を頂戴したのですが、テーマの決め方については、本日いただいた意見を事務局で整理して、皆さんにお示しさせていただく中で進めていきたいと思います。

それでは、これから少しお時間をとりまして、各グループの発表についてご意見がありましたら、挙手で意見交換ができればと思います。どなたかいらっしゃいますか。

【登録員H】

すみませんが、ワークショップという言葉の意味 자체が分からぬので説明をお願いします。それから、先ほど他の方からも意見がありました
が、ここで出たいい意見で、みんなでまちづくり課がいいなと思ったものを他の課に言って、その課がやるかやらないか何を言うか分からないのですが、結果をこの会議の場でまた報告するというのもいいと思います。

【事務局】

今、ご提案いただいたのは、この会議で出たいい意見を所管課に言って、このような意見が出たがどうかと問い合わせることですね。私が考えていたのは、予め会議で話し合うテーマを決めておき、テーマに関連する所管課に会議に出席してもらって議論の行く末を見てもらい、役所としてのスタンスも含めて話してもらいます。所管課がいないところで話し合った結果を間接的に説明するのではなく、パートナーシップのまちづ

	くりという大きな命題の中で会議を開催していますので、みんなでまちづくり課だけではなく多くの課に来てもらいたいと考えています。このような事前の調整をするために、どのようなテーマで話し合うのかを事前に決めておきたいので、今回の議題を出させていただきました。
【登録員 H】	ワークショップとはどういう意味ですか。
【事務局】	ワークショップとは、本日 20 名の方がいらっしゃるのですが、グループで討議することによって 1 人だけが意見を言うのではなく、皆さんで意見を共有できる、グループで個々の意見を出せるという効果があります。本日は、議論をする 1 つの手法としてワークショップというものを使わせていただきました。
【登録員 H】	それは分かりましたが、ショップとは店の意味ですか。
【事務局】	そういう意味ではございません。
【登録員 H】	どういう意味ですか。英語が分からないのですが。
【登録員 A】	日本語で言ってください。ワークショップはどういう意味ですか。
【登録員】	ワークショップという言葉が分かりづらいということですが、話し合いの場、グループでの討論ということでご理解いただければと思います。この次は分かりやすい表現でお示しさせていただければと思います。
【登録員 H】	先ほどの課長の話、他の課も会議に参加して話してもらうという話。大いに結構でやって欲しいです。介護や国民健康保険の問題など、いろんな難しい情報については知らない人もいると思うので、担当課から会議の場で話してもらえばみんな喜ぶし、大いに助かると思います。
【事務局】	特定の分野について議論が進むと、質問がでたり、役所はどう考えているのか、こうできないのかという意見が必ずでてきますが、担当課ではないと答えられないと考えております。みんなでまちづくり課が全ての問題に答えることはできないと考えておりますので、テーマが決まっている時はその分野の所管課が参加した上で会議を開きたいと考えておりますのでよろしくお願ひします。
【登録員 I】	すみません。ワークショップや参画、協働等の名前のことについてです

が、括弧書きで意味を書いていただければいいと思います。ワークショップという言葉は常識的に使われている言葉なので、年齢層によっては耳慣れない言葉だと思いますが、若い人たちの中では当たり前に使われている言葉です。タイムスケジュールという言葉も昔はあまり使われなかったのですが、今は普通に使われています。参画についても、参画とは企画が入っているという意味だと思うのです。言われたことだけをやるのは参加ですが、参画には私たちも企画するという意味が入っていると思うのです。参画というのもごく一般的に使われ出した言葉だと思います。でも、それを知らない人もいる訳ですから、括弧書きで書いてもらって、そちらの言葉も覚える、というのがいいと思います。

【登録員 A】

参画は一般的ではなくて、専門用語です。一般市民用ではないので、参画ではなく参加でいいのですよ。協働ではなく協力でいいのです。一般向けとしてはそういう文言を使っていただきたい。

【事務局】

参画につきましては、大元となっております、自治基本条例に・・・

【登録員 A】

知っています。それを言うと思ったのですが、それすらもそういう意味で使われているのです。それは言い訳ですよ。それともう一つ、もっと大事なこと。課長は、私はさっきから言っているのですが、そっと言って暗黙の了解みたいな形をとるので、はっきりものを言って欲しいのです。課としてこうしたいと。第三者が云々と言うのも念を押しましたが、最後に「では今回はペンディング」と言いましたよね。もっと大事なこと、『みんなでまちづくり会議のあり方（庁内検証委員会案）』の中で、みんなでまちづくり会議の欄に赤い字で見えるように消してある。誰がどうして消したのか知らないけれど、みんなでまちづくり会議はこういうものだと定義がここに書いてあるのですよ。それがあちこち消したり赤い字で書いたりしているのです。みんなでまちづくり会議はこういうものだということ、まずここが一番大事なので、ここを課長の口から最初に言って欲しかった。みんなでまちづくり会議の取り扱い「法的な拘束力はないが尊重されるべきものである」。そして、「権限や権威はない」が消してある。ここがまず前提として、会議はこういうものですよ、と課長から言ってもらえば、それなら我々は、テーマはこうだとかみんなでまちづくり会議はこうやって話し合うのだと分かるのです。一番大事なところをきちんと押さえて、「みんなでまちづくり会議は法的な拘束力はないが尊重されるべきものである」と。「権限や権威はない」というところは消してあります、やっぱりそうなのでしょうね、見えるように消してあるから。はっきりと言ってくださいよ。

【事務局】	<p>この資料は過去2回の会議の場で使ったものです。皆さんからいろんなご意見をいただく中で、「権限や権威はない」という表現についてもうちよつと言ひ方があるのではないかという意見があったので、今回、「法的な拘束力はないが尊重されるべきものである」というように表現を改めたので見え消しにさせていただいたところです。</p>
【登録員A】	<p>言い方の違いでしょ。本質はこうなのです、ということがここに書いてあるのですよね。そうでしょ。</p>
【登録員B】	<p>すみません。私はそこは今の方と全然意見が違って、過去2回出てきた経過の中で、市の側が当初の見方から変えてこういう表現にしてくれたのだというように私は理解をしました。ただ、この議論の経過が分かるようになれて見え消しにしたのだというような私の理解です。やはりこの中でも、今の方とそれから私、或いは他の人たちと意見や理解の仕方の違いというものがあると思うのですが、できれば次回の会議では、事前の情報提供を含めてなるべく同じレベルで話ができるような資料提供等をお願いできるといいと思いました。</p>
【登録員A】	<p>最後に言いたいのですが、法的な拘束力はない、権限や権威はない、私は大賛成です。</p>
【事務局】	<p>その部分がどういったものかということについて、場を持つ時に説明をさせていただきたいと考えます。</p>
【登録員J】	<p>皆さんいろいろご意見があり、市役所の方もいろんないいものがあって、我々も言いたいことがあります。でも、何よりも大事なことは、この会議の場が続くことだと思います。そして、回数が増えることです。みんなが話し合う機会が増えることが大事で、今ここでみんなの意見が違うと言い合っても、実際、前回の会議よりも人数が減っているのですね。かなり減ってしまったな、と思えるぐらいです。と言うことは、この会議はおもしろくない、つまんないということです。今回参加された方もおもしろくなかったら次回は来ないはずです。そして、また新規の方が集まって来て、何となく人数が集まったなど、そんなごまかしたいなことはもうやめたいので、貴重な皆さん的人生の一部を、この貴重な時間を使ってこの場に来ているということは、何か残して、市民として何かをつなげたいと思うのです。そうすると、今みたいな話よりも、こうやって仲たがいしないでいいような、建設的なやり方がないのかということを今日ここで決め</p>

	<p>られないでしょうか。このような話は前回と前々回とずっと続いて、今回来られなかつた方には、この資料を見て、前と同じ資料じゃないかと、内容は変わっているけれどそんな細かく見ないで、また同じ議論をするのではないかと思って来なかつた可能性もあります。だから、今日で終わりが告げられないでしょうか。</p> <p>私の提案として、まず皆さんで、本当にやりたいと思っていることはいつたい何なのだととにかく洗いざらい出して、それがどんなレベルなのか、それはこの会議では扱えませんとか、そういう仕分けをみんなで話し合いながらできるのではないでしようか。テーマは何なのかという雲をつかむような話をして、次に手段の話に移っても分かりにくいので、みんなが求めているものは何なのか、ということをとにかく洗いざらい出してみて、それから進行役だと思います。洗いざらい出して収拾がつかなくなつた時に、趣旨が見えるようにしなければいけない。それはみんなで共有するのもそうですし、市役所の方も見る、市民の方も見る、見せるために取りまとめる役がいる、ということで進行役だと認識してきました。</p> <p>だから、何か今日、決めて帰りたいと思います。あせっているかもしれません。</p>
【登録員 F】	ここは決める場ではないのでは。
【登録員 J】	次回、何をするかを決めないと。
【登録員 H】	とりあえず、次回のテーマを決めた方がいいと思います。
【事務局】	<p>建設的な意見、ありがとうございました。本日いただいたご意見については、この場で回答することができません。次回のテーマを決めた方がいいという意見をいただきましたが、実は、次回のテーマについてはすでに予定があります。</p> <p>冒頭で触れましたが、市の総合振興計画を平成27年度までの予定で策定することになっています。策定にあたり、市民から意見をいただくページがあるということなので、次回10月のみんなでまちづくり会議は、市の基本的な計画である総合振興計画をテーマとして、いわゆる市からの発信・情報共有という形で開催させていただきたいと考えております。その予告として、所管課の総合政策課が説明に来ていますので、皆さんのお時間をいただければと思います。</p>
【総合政策課】	【総合振興計画について説明】

【事務局】	<p>ありがとうございました。それでは、今、総合政策課からお話をさせていただきましたとおり、次回の会議は、市の総合政策課からの発信・情報共有をさせていただきたいと考えています。</p> <p>次回、10月の日程ですが、10月21日（火）午後7時からこちらの会場で開催いたします。今までどおり改めて郵便でご案内をお送りさせていただきます。多くの方にご参加いただければと思いますので、よろしくお願いします。</p>
【登録員 H】	<p>1つだけいいですか。資料の4番に「市民意向の把握」とありますが、これは道路などのハード面のでもこういった方式でやるのかだけ教えて欲しいです。</p>
【総合政策課】	<p>ご質問にお答えします。総合振興計画とハード面の都市計画マスタープランと一緒に作成していくので、その懇談会の中でハード面も含めてご意見をいただきたいと思います。</p>
【登録員 H】	<p>そうすると、懇談会にはどんな人を集めるのですか。</p>
【総合政策課】	<p>地域の方で自由に集まつていただく予定です。制限を設ける予定ではございません。</p>
【登録員 H】	<p>注意していただきたいというか、言っておきますと、うちの近くで市がハード面をやりたいと言った場合、自分の意見をきく住民らで懇談会を集め賛同するように仕組んでやっているのです。だから、こういうことだけはやめるようお願いしたいです。</p>
【総合政策課】	<p>分かりました。それは十分認識してやっていきたいと思います。</p>
【事務局】	<p>今日、多くのご意見をいただきました。次回は総合振興計画について開催いたします。本日のご意見は、時間をいただいて検討します。</p>
【登録員 K】	<p>次回のテーマである総合振興計画と都市計画マスタープランについては、草加市全体の事業なのでこれでいいと思います。ただ、その次のテーマをどうするかということで、今日、ワークショップをやって皆さんの意見を聞いています。次の会議では何をテーマとして議論するのか、こういったテーマはどうでしょうと提案できるような体制を必ず作っていただきたいです。次回のみんなでまちづくり会議が終わって、次は何をやるのか分からないということでは、これはもう会議解散です。意味がないこ</p>

	とです。それだけは避けてもらいたい。
【事務局】	検討させていただきます。
【事務局】	それでは、皆さん、大変ご多忙な中お集まりいただき、活発な意見交換をしていただきましてありがとうございました。これをもちまして、平成26年度第2回定例会議を終了いたします。ありがとうございました。

議事録署名人 長谷部 健一

議事録署名人 森田 一彦